

議員勉強会を開催しました

■富士見町議会はこのほど、山梨学院大学法学部の江藤俊昭教授を講師に招いて議員勉強会を開きました。江藤教授は「地方議会改革の最前線～『住民自治の根幹』としての議会を作動させる～」をテーマに講演しました。

江藤教授は、議会を取り巻く外部環境として▽少子高齢化、人口減などの課題▽地方分権改革による自由度の向上、財政危機に伴う選択と集中▽国政、地方を問わず政治不信の蔓延一を挙げました。課題が山積する中で、地方政治が「負の連鎖」を断ち切り、「正の連鎖」に近づけていくための努力が必要だと語り、キーワードとして「議決責任の自覚」を挙げました。その上で「議会改革は、改革自体が目的ではない。住民福祉の向上に役立つ議会をどうつくるかがポイントになる」とし、同時に、「住民自治を進めることになる」と語りました。議会が議決責任を自覚し、新たな課題の解決に挑戦するためには、町村議会では年間2万円に満たない議会活動費や、報酬の引き上げも論議すべきだという考えを示しました。「報酬を下げればいい」という議論からの意識改革も必要だと指摘しました。

飯綱町議会では、議員数の削減による「議会力の低下」を補完するため、住民を巻き込んだチームが提言をまとめ、条例化を実現したことも紹介しました。議会改革は「驚くべき権限の自覚」が起点となるとし、「議決責任を再確認すると説明責任を伴う。議員間討議が必要であり、そのためには調査研究、住民との意見交換も必要になる」と指摘しました。加々見議長は謝辞で「今期は、議会改革をそれなりの覚悟でやるつもりです。実行委員会で真剣に取り組んでいきたい」と感謝の言葉を述べました。（川合弘人）



講演する江藤俊昭教授



県内や富士見町の経済について語る小山支店長

■富士見町議会は12月定例会最終日の15日、全協室で議員勉強会を開き、八十二銀行富士見支店の小山千明支店長が、「長野県経済の現状と見通し」など三つのテーマで講演しました。

講演では、県内経済について説明した後、富士見町の経済と将来展望に関しては「製造業は9月まで順調だったが、その後は落ち着いてきたという声がある。在庫調整で済むのか、長引くのかは方向性が見えない。不透明感が強まっている」としました。前回御柱祭では「八十二銀行支店に限定すると、事業向け貸出金が下諏訪町以外、2～7月は低下した」とし、「来年の御柱祭が諏訪の経済に影響する可能性もある」と語りました。富士見支店については、「諏訪地方の中では重要な拠点。県内で峠を越えないで近県と接している自治体は少なく、富士見町が北杜市との関係を進めていくのであれば、重要性は増す」と期待感を示しました。（川合弘人）

議会傍聴感想

12月定例会の一般質問には、富士見町女性団体連絡会の皆さんが議会傍聴にお越し下さいました。多くの感想を頂戴しましたので、その中から一部を紹介します。

◇子どもから高齢者まで元気になるようなまちづくりを望んでいます。◇防災の事は、御嶽山の事もあり、私達一人々が常に意識を持って行かなくてはならないと思います。◇富士見高校アンテナショップは、すばらしいと思います。◇都市計画道路は、年月をかけてもぜひ完成させていただきたい。◇一般質問を聞いて、住民として町政に関心を持ち、議員さんと一緒に住みやすい町づくりを考えていきたいと思ひます。

*他にも前向きな感想をたくさん頂戴しました。ありがとうございました。

【編集後記】 新しい年を迎えました。昨年は、気象変動による温暖化、マイナンバー制度、軽減税率、安保法案、テロ過激思想、COP21 等ニュースが駆け巡りましたが、今年も国内外の情報から目を離せませんね。読みやすく、愛される議会だよりを皆さんにお届けしたいと、改善できるところから見直し、議会の見える化に向け、編集委員一同取り組んでいきます。28年もどうぞよろしくお願い致します。

(議会広報編集委員 小林市子)

<富士見町議会へご意見をお寄せください>

【No.142】 平成28年2月1日発行 発行：富士見町議会 / 編集：議会広報編集委員会
委員長：川合弘人 / 副委員長：矢島 尚 / 委員：五味高幸 小林市子
〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合 10777
TEL：0266-62-9403 FAX：0266-62-9320 E-mail：gikai@town.fujimi.lg.jp
印刷：(有)富士見印刷